



# 美しい田園21通信



〒105-0004

東京都港区新橋 5-34-4 農業土木会館

**NPO 美しい田園 21**

Tel 03-3434-5056 Fax 03-3434-5057

メール [npo@denen21.jp](mailto:npo@denen21.jp)

問い合わせや活動報告はこちらへ

ホームページ <http://www.denen21.jp/>

最新情報や田園通信のバックナンバーはこちらから

## 目次

- |                        |      |
|------------------------|------|
| 1 「旧玉名干拓施設」草刈り清掃活動へ参加  | 九州支部 |
| 2 坂井北部地区の耕作放棄地解消活動への参加 | 北陸支部 |
| 3 第12回西蒲原クリーン作戦”活動報告   | 北陸支部 |

### 1. 「旧玉名干拓施設」草刈り清掃活動へ参加 九州支部

平成29年10月28日(土)に、横島町文化財保存顕彰会の呼び掛けにより、国指定重要文化財「旧玉名干拓施設」の明丑・末広潮受け堤防の草刈り清掃活動に参加しました。台風の接近に伴い生憎の天気ではありましたが、NPO「美しい田園21」九州支部会員など総勢81名が草刈り機や鎌を持ち草刈りに汗を流しました。



当会員は末広潮受け堤防を中心に、堤防の小段や石積みの際間に生えている萱や灌木等の刈り払い取り除きを行いました。末広潮受け堤防は直立型堤防のため、急こう配な石積に張り付く様にして細心の注意を払いながら作業を行い転落事故や怪我もなく無事草刈り清掃活動を終わることが出来ました。



ここ玉名地域の干拓の歴史は古く、戦国時代の武将加藤清正公の時代に始まり、細川藩へと引き継がれ、明治・大正をへて国営横島干拓事業(昭和26年～昭和49年)へと続いてきました。平成12年から国営玉名横島海岸保全事業にて消波工を設置するなど海岸堤防の補修が実施されています。

今回草刈り清掃活動を行った国指定重要文化財「旧玉名干拓施設」は、明治20年から30年代に地元の有力者により干拓された末広開、明丑開、明豊開、大豊開を守る潮受け堤防と樋門であります。国営横島干拓事業の完成(昭和42年潮止め工事)により海水の侵入を防ぐ第一線堤防としての役目は終わりましたが、日本の産業の近代化に貢献した遺産として、また土木学的にも優れた建造物であり貴重な遺産として保存されておるものです。

### 2 坂井北部地区の耕作放棄地解消活動への参加 北陸支部 (・・・コオロギさんごめんない・・・)

今年6月13日に国営坂井北部地区の耕作放棄地再生活動で定植したサツマイモを去る10月13日(金)坂井北部土地改良区の要請を受け、第2回目の耕作放棄地解消活動に「美しい田園21」も支援してきました。当日は、金津保育園の4歳児23名と保育士3名、土地改良区職員、福井県立大学「里山応援サークル」他総勢51名の参加で行われました。

今回の作業は、既に作付けされている金時イモ300本を金津保育園の園児と収穫するもので、予め葉っぱを取り除いた後、園児達が作付け時に名前を書いて差し込んだ竹串の前に並びその前で支援者達がスコップなどで手助けしながら掘り起こすものです。竹串の前に整列するや次々と園児達がコオロギや芋虫を見つけ、「コオロギをやっつけろ!」のかけ声と共に誰からともなくコオロギ退治が始まりました。退治の理由は、「気持ち悪いから」の一言、・・・ただひたすら「南無阿弥陀仏」と手を合わせるばかりでした。



コオロギ退治が一段落した後、芋掘りをはじめましたが、掘り始めるやいなやあちこちから曇天の空を突き破るよう園児達の歓声が上がりました。「あったー」「でかいぞー」「沢山ついとる」等々丸々としたサツマイモを掘り当て、高々と持ち上げながら「キャッキャ」と満面の笑みを浮かべながら廻りの園児達と喜びを分かち合い、それを満足げに見守る保育士や支援者達あつという間に用意したコンテナボックスがサツマイモであふれかえりました。



収穫作業を終えた園児達は、土地改良区が準備した特性の芋焼き器で焼いた熱々の焼き芋をほおぼり「アチチ、アチチ」とあえぎながら食べていました。もちろんおかわりをする大食園児達もいっぱいいて、焼き芋係を喜ばせていました。最後に、園児達は今日の体験の喜びと世話をいただいた方々への感謝を述べ、みんなで記念写真にパチリ。いつものことながら、NPO のおじさん達は孫のような園児に囲まれニッコリ、大事なひとときを過ごしました。

### 3. 第12回西蒲原クリーン作戦”活動報告 北陸支部

去る10月29日(日)、政令指定都市・新潟市の大部分を占める西蒲原地区において“第12回西蒲原クリーン作戦”が開催されました。

当該活動は毎年11月3日に固定され実施されて来ましたが、昨年は晩秋特有の風雨で急遽中止されたことから、今年は1週間前倒しされました。しかし、稲刈りが終わり、晴れ渡った秋空での活動となる予定でしたが、あいにく2週連続日本列島を襲った台風の影響から、当日は風雨の中での開催となりました。

当該活動は稲刈りが完了し、かつ他地区の環境保全諸活動が一段落する時期でもあることから、毎年多くの参加者が駆けつけており、地域の産業と生活を支える農業用施設の啓発活動を日々展開している水土里ネット西蒲原の活動の賜物と敬意を表すところです。

当日の悪天候にも関わらず活動には約350名(うちNPO 田園21会員は8名)が参加しましたが、西蒲原地区の農地が約2万haと広範であることから、終戦後3期に亘り国営事業で造成された基幹の水利施設を中心に6地点に分かれて集合した後、全集合地点とも午前9時から一斉に清掃活動が開始されました。

このうち、七穂排水機場には約90人が集結し、主催者の挨拶、連絡事項等全体集会の後、さっそく機場周辺並びに七穂排水路約1.2kmの管理用道路を中心に清掃活動が展開されました。

清掃箇所は田園景観が続く地域ですが、管理用道路沿いには心無い人による不法投棄、いわゆるポイ捨てが多く、一定の場所に集中して投棄されている状況が目立ちます。これは恒常的な生活パターンと、模倣による特定者の投棄ゴミと容易に推察されました。

横殴りの雨風の中での清掃活動でしたが、終了後に“雨の中、大変お疲れ様でした。来年も参加下さい。”と声を掛ける主催者の暖かい言葉に心癒され、帰途に着きました。

主催者挨拶・報告事項(七穂排水機場)



参加者集合



強風雨の中での管理用道路沿い清掃活動

